

特別会員七十八名が加入 角田の新鮮な農産物を送る



▲第2回目の幸水

角田農業のサポーターとして平成十二年度特別会員を六月に募集したところ、目黒区役所職員、目黒区緑ヶ丘小学校関係者、みやぎ生協関係者等の七十八名の皆さんから応募がありました。

年会費一万円を納めて頂いている特別会員には、年三回、角田の農産物や季節の情報を宅配便で。

これまで、七月二十一日に第一回目として、トマト、ナス、ジャガイモ等七品目



▲第1回目に送った野菜

の野菜詰め合わせボックス。第二回目には、梨・幸水（五ヶ）を送りました。会員からは、「送られた野菜はどれも新鮮で美味しい」特にトマトは好評でした。また、梨についても「みずみずしく大変甘い」という声が寄せられました。

第三回目は、十月下旬頃に新米を中心としたごはんセットを送る予定です。

目黒区の子供が角田の自然を満喫

J A角田地区青年部企画・夏休み農村体験交流会



都会の子供たちに角田の自然の中で農業を体験してもらおうと、七月二十八日から三十一日までの行程で「夏休み農村体験交流会」が行われました。

これは、J Aみやぎ仙南角田地区青年部（星智宏委員長）が企画しているもので、東京都目黒区から選ばれた小・中学生等十四名が青年部員宅にホームステイ、その家での農作業や子供たちとの交流を通して農村生活を体験しました。

また滞在中にJ A納豆センターやライスセンター、台山公園、四方山、仙南シンケンファクトリーなどを見学。角田市の農業・自然・観光をま

るごこと肌で感じていただきました。